

川崎市及び瀋陽市の環境にやさしい都市の構築に係る協力について

1. 経緯

- 川崎市は友好都市の瀋陽市との間で、近年特に瀋陽市が現在力を入れている循環経済の促進に協力。2009年2月には「川崎市・瀋陽市循環経済発展協力に関する協定書」締結。
- 2009年6月14日、我が国環境大臣と中国環境保護部長が川崎市と瀋陽市の環境にやさしい都市の構築に係る協力に関する覚書を取り交わした。
- 2009年度より環境省は、川崎市-瀋陽市環境にやさしい都市構築モデル事業を実施。

2. 取組の状況

環境省、川崎市、国立環境研究所、民間企業が瀋陽市における循環経済政策や技術システムの導入に向けて協力を実施。

- 環境省は、瀋陽市への各種リサイクル事業の実現可能性調査（F S）を実施。平成23年度は、廃油、廃蛍光灯、ごみ焼却等について、F Sを実施中。
- 本協力事業における日中の連携を強化するため日中関係者による国際検討会合を実施しているほか、現地において「環境にやさしい都市ワークショップ」を開催（2010年及び2011年3月に北京及び瀋陽において開催。本年3月に瀋陽で開催。）。
- 川崎市は、国際ワークショップ、環境ニーズ調査、研修等を実施。
- 川崎市のエコタウン立地企業等が、各種リサイクル事業の瀋陽市への展開について瀋陽市と調整中。
- 国立環境研究所は、川崎市をフィールドとして開発した「循環経済都市シュミレーションシステム」の瀋陽市への適用に向けて、環境省研究費も活用し、中国科学院と協力して取組を行っている。